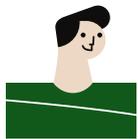


参加者からのコメント

Q

プログラムを通して何を学びましたか？プログラムを通じてどのように成長しましたか？自分の能力がどのように向上したと思いますか？

プロジェクトを通して、ブレインストーミングの方法、失敗から学ぶ方法、そして得られた結果を分析する方法を学びました。このプログラムは、私をコンフォートゾーンから抜け出し、独立した研究者として、既成概念にとらわれずに考えるよう促してくれると思います。プロジェクト中に何度も調整を余儀なくされたのですが、このプログラムは私の仕事の習慣と方法論を身につけるのに役立ったと思います。



学問への情熱が芽生え、大学院進学を決意しました。日本語でのコミュニケーション能力と、日本の常識を学んだことで、日本で働く上でよりよい候補者になれたと思います。プログラムを通して多くの友人ができ、プログラム終了後の未来が楽しみになりました。

専攻分野を超えた専門知識を得ることができました。グループミーティングと最終ポスター発表の両方で発表する必要があったため、時間管理がうまくなり、人前で話す機会も増えました。



私は期限内に研究プロジェクトを作成する方法を学んだだけでなく、研究機関における日本文化についても学びました。正式な研究提案書を書き、自分で研究ポスターを作成し、同僚や教授とテーマについてコミュニケーションを取ることができました。初めから終わりまで自分で研究プロジェクトを進める自信ができました。

Q

T-SRIPについて、特に良かった点や、大学に戻ったときにおすすめしたいことは何ですか？

私は、旅行や文化イベントが有益で楽しいと感じました。



研究室での集中的な研究だと思います。修士課程の学生としての生活を体験できるし、自分が研究に向いているのかも分かります。

教授や他の研究室メンバーとのコラボレーションを奨励しながら、独立した研究と仕事に重点を置いたのは良かったと思います。

